

学年・教科・担当者	1 年	技術・家庭 家庭分野	堀 奈央
-----------	-----	------------	------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	・ ガイダンス ・ 家族・家庭生活	○家庭分野の3年間の見通しを知り、自立した生活者を目指す。 ○家族・家庭の基本的な機能を知り、自分と家族のかかわりについて考える。 ○家族を支える社会の様座な仕組みに気付き、ワーク・ライフ・バランスについて考えることができる。
	5	・ 食事の役割 ・ 健康に良い食習慣 ・ 栄養素の種類と働き	○食事の役割について理解することができる。 ○健康に良い食習慣について考えることができる。 ○栄養素の種類と働きがわかる。
	6	・ 日常食の調理（野菜） ・ 中学生の栄養の特徴 ・ 栄養素の種類と働き ・ 食品の栄養的特質 ・ 持続可能な食生活を目指して	○身近な食品を6つの食品群に分類することができる。
	7	・ 中学生の1日に必要な食品の種類と概量 ・ 地域の食材を用いた和食の調理	○中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。 ○地域の食文化を理解することができる。
2	9	・ 衣服の働き ・ 目的に応じた着用や個性を生かす着用 ・ 衣服の手入れ ・ 衣服の計画的な活用	○衣服のはたらきを知り、健康で自分らしく着るためにはどうしたらよいかを考えることができる。 ○T・P・Oを踏まえながら個性を生かした着方を工夫することができる。
	10	・ 衣服の選択	○洋服と和服の構成の違いを理解し、和服の文化を受け次ぐ大切に気づくことができる。
	11	・ 生活を豊かにするための布を用いた製作	○布を使った制作物（ペンケース）で基礎縫いを学習しながら工夫し計画を立ててつくることができる。
	12		
3	1	住居の基本的な機能	○住まいの働きと家族の関わりについて理解する。
	2	・ 家族の生活と住空間との関わり ・ 住まいと気候風土の関わり	○日本の住まいと住まい方の特徴を理解することができる。
	3	・ 家族の安全を考えた住空間 ・ 持続可能な住生活を目指して	○住まいの中の危険な場所について家庭内事故防止の対策や災害への備えを考えることができる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード
②思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。 実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード、授業中の活動・発言
③主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。 改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート、授業中の態度、実習記録カード